

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	70
基本施策	20	防犯・交通安全の推進	評価責任者	住民生活課長 渡邊 孝司
単位施策	1	防犯体制の強化		産業振興課長 石井 弘道

1 施策の概要

基本方針	防犯灯・街路灯など防犯施設を充実するとともに、警察など関係機関と連携し、地域住民の協力を得ながら、地域ぐるみの防犯体制の構築を進める。また、消費者被害防止の体制づくりを進める。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	警察、防犯協会、暴力追放運動協議会など関係団体、家庭、学校、地域等と緊密な連絡体制を築き、多様化する犯罪防止に努め、地域ぐるみの防犯体制の強化を図った。	多種多様化する犯罪に対し各団体と連携を図り、振り込み詐欺や防犯のチラシ配布など啓蒙・啓発運動を展開し、安全・安心な地域づくりに努めた。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	地域における人間関係の希薄化が進み、犯罪の抑制機能が低下しつつあり、また、全国的に振り込み詐欺や子供への凶悪犯罪などが社会問題化している。	凶悪で無差別な街頭犯罪や高齢弱者を狙った振り込み詐欺など、多様化する犯罪の防止に対し、地域ぐるみの防犯体制の確立が必要である。

2 基本施策指標

指標1	指標名	犯罪発生件数						
	定義等	町内の犯罪発生（認知）件数						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	0件	0件	0件				0件
指標2	指標名	治安の満足度						
	定義等	まちづくりアンケート						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	45%（H18）	未調査	未調査	未調査	57.4%		60%
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	興部地区防犯協会連合会運営事業	住民活動係	167	A	継続/現状維持	A
②	雄武町防犯協会補助事業	住民活動係	150	A	継続/現状維持	A
③	雄武町暴力追放運動推進協議会補助事業	住民活動係	45	A	継続/現状維持	A
④	消費者協会運営補助事業	商工観光係	200	A	継続/現状維持	A
⑤	消費者行政活性化推進事業	商工観光係	2,043	A	継続/現状維持	A
⑥	【再掲】雄武町自治会連合会補助事業	住民活動係	250	A	継続/現状維持	A
⑦	【再掲】自治会運営補助事業	住民活動係	5,069	A	継続/現状維持	A
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	犯罪のない地域づくりのために、関係団体、学校、家庭、地域等と連携を図ることは行政の使命である。
② 有効性	A	認知犯罪件数ゼロを目標として各種チラシを配布するなど防犯に対する認識の共有化が図られた。
③ 効率性	A	町民や関係機関との連携を図りながら、効率よく各種啓発・啓蒙運動に取り組んでいる。
④ 公平性	A	地域ぐるみの防犯体制を構築し、全ての町民が安全と安心を確保している。
⑤ 町民意見の反映	A	自治会連合会等住民を代表する団体と協議しながら、防犯に対する啓発運動を展開している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
町内で開催される各種行事で、振り込め詐欺、防犯・暴走運動の啓発チラシ配布や防犯灯設置費の助成など、足元からの体制強化に努めた。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
既存組織運営の自主的な運動を支援するとともに、各団体と行政の協働により地域ぐるみの防犯体制の充実に努める。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		